

事務事業名		一般住宅支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	建築住宅係	担当課長名	金子悦雄	
	施策	3 快適で質の高い住環境の整備					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 快適で安全な住まいづくりの推進と市営住宅の適正な管理・運営					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	11963	一般	8	5	1	一般住宅支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	19年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		相談事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
市民が快適で安全な住環境を確保できるように、住宅に関する情報を提供する。 ・住宅相談会の開催 ・ホームページの管理	住宅相談会の開催(11月)、ホームページの管理(通年)						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	住宅相談会の開催	回	1	1	1	1	1
	住宅関連相談件数	件	5	2	10	10	10
	ホームページでの問合せ	件	1	1	5	5	5

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

①市民 ②住宅	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	人口	人	123,182	122,582	121,522		
	新築・増改築した住宅	戸					

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的 快適で安全な住宅づくりの推進を支援する	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	新築・増改築の情報を得た件数	件	6	3	15	15	15

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

市民が質の高い住宅づくりに有効な情報を得られている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	住環境に満足している市民の割合	%	69.8	68.8	78.0	79.0	80.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円	26							
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	36		30	30	30			
	事業費計(A)	千円	62	0	30	30	30			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	10	消耗品費	0	消耗品費	8	消耗品費	8
			業務委託料	52	業務委託料	0	業務委託料		業務委託料	
				負担金	22	負担金	22	負担金	22	
人件費	人	4	2	2	2	2				
のべ業務時間	時間	400	300	300	300	300				
人件費計(B)	千円	1,556	1,182	1,182	1,182	1,182				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,618	1,182	1,212	1,212	1,212				

事務事業名	一般住宅支援事業	担当部	都市建設部	担当課	建築住宅課	担当係	建築住宅係
-------	----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成18年6月に「住生活基本法」が制定され、住宅政策の「量」から「質」への転換が図られた。さらに、県では、「栃木県住生活基本計画」を策定し、多様化・高度化する居住ニーズに的確に対応する具体的な施策を推進することとしている。本市では、平成18年度に「佐野市総合計画」を策定し、「快適で質の高い住環境の整備」を目指している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国民の住生活の安全のため、国の住宅政策として、耐震化、省エネルギー、空き家対策、高齢者の居住確保など多義にわたる政策が立案されている状況である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 快適で安全な住宅づくりの情報を提供することは、快適で住みやすい住環境を確保することにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 人口・世帯減少社会、超高齢社会を目前に控え、住宅事情や社会経済情勢に対応する住宅政策を自治体が行うことは必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 快適で安全な住宅を新築・増改築するのは、市民である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 住宅の新築・増改築に際し、住宅に関する助成・融資制度や建設トラブルを回避するための情報等の提供をすることにより、適切な住環境の創造につながり、向上の余地がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案
	*類似事務事業があれば、名称を記入	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 快適で住みやすい住環境の情報提供をするために、事業費・人件費を削減する余地は無い。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 住みやすい住環境を整備するための、住宅に関する助成・融資制度や建設トラブルを回避するための情報等の提供をすることは、自治体の責務であり、受益者負担はなじまない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	快適で住みやすい住環境を整備するために、廃止はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ホームページの内容拡充により情報提供の充実を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	ホームページの内容拡充により情報提供の充実を図る。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	